



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <https://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	21,848	△2.3	1,072	△31.3	1,207	△39.3	735	△46.3
2019年3月期第3四半期	22,358	5.2	1,561	105.4	1,987	144.9	1,369	170.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 720百万円 (△46.2%) 2019年3月期第3四半期 1,340百万円 (175.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	50.13	47.86
2019年3月期第3四半期	83.53	80.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,452	21,681	62.0
2019年3月期	32,880	21,915	63.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 20,743百万円 2019年3月期 21,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	0.7	1,600	△18.2	1,750	△28.9	1,100	△26.3	76.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	15,700,000株	2019年3月期	15,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,349,118株	2019年3月期	1,011,618株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	14,663,425株	2019年3月期3Q	16,393,789株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や堅調な設備投資などを背景に概ね緩やかな回復基調が続いているものの、消費税増税による駆け込み需要の反動減や米中貿易摩擦の長期化、中国経済の減速による影響など、先行き不透明な状況が懸念されます。

このような状況のもと、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、車載や社会インフラ向けの組込み関連製品が堅調に推移した一方、半導体市況悪化の影響によりテストシステムが低迷した結果、売上高21,848百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益1,072百万円(同31.3%減)、経常利益1,207百万円(同39.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益735百万円(同46.3%減)となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供により、新規顧客開拓や既存顧客との関係強化を図るなど積極的な営業活動を行い、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、既存顧客からの受注や新規顧客開拓及び新規製品の販売が堅調に推移いたしました。自社製CPUボードなどの組込み製品は、流通向けが伸び悩んだものの、社会インフラ向けや防衛向けが堅調に推移いたしました。また、ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、自動車関連の底堅い開発需要に支えられ引き続き堅調に推移いたしました。アイティアアクセス株式会社は、組込みソフトウェアのライセンス販売が伸び悩みましたが、新規事業である決済端末の販売が大幅に増加いたしました。画像処理関連事業を手掛ける株式会社レグラスは、画像処理関連の受託開発や自社製AIカメラシステム関連の受託開発、販売が堅調に推移いたしました。一方、モデルベース開発は、一部顧客プロジェクトの見送りなどにより減収となりました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、主力顧客の需要低迷に代わる受注は確保したものの収益面では前年同期実績に及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は15,187百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は1,147百万円(同15.7%増)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場、モバイルデバイス市場等の顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力するとともに、顧客ニーズに対応した製品の開発、商品の開拓に積極的に取り組んでまいりました。自社製テストシステムは、市況悪化に伴う顧客の投資抑制が依然として続いていることから、メモリーテスターの販売が低迷し減収となりました。一方、台湾のSTAr Technologies, Inc.は、テストシステム販売が堅調だったことに加え、顧客ファウンドリ向けのプローブカード販売も伸長したことにより引き続き好調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は6,660百万円(同26.0%減)、セグメント利益は275百万円(同72.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、33,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ571百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や仕掛品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は11,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ804百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金や借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は21,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ233百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得により自己株式が増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は62.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,498,187	4,705,237
受取手形及び売掛金	7,428,417	6,711,229
商品及び製品	2,951,313	2,745,829
仕掛品	495,908	804,668
原材料	475,322	454,039
その他	1,551,091	2,168,735
貸倒引当金	—	△4,314
流動資産合計	17,400,241	17,585,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,103,451	8,230,198
減価償却累計額	△4,457,036	△4,587,907
建物及び構築物（純額）	3,646,414	3,642,290
土地	5,721,345	5,877,882
その他	2,382,879	2,525,452
減価償却累計額	△1,379,734	△1,519,871
その他（純額）	1,003,145	1,005,580
有形固定資産合計	10,370,905	10,525,754
無形固定資産		
のれん	775,795	619,847
その他	713,800	875,794
無形固定資産合計	1,489,596	1,495,642
投資その他の資産		
投資有価証券	1,850,568	1,992,851
その他	1,769,557	1,852,542
投資その他の資産合計	3,620,126	3,845,394
固定資産合計	15,480,628	15,866,791
資産合計	32,880,869	33,452,217

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,306	1,879,334
短期借入金	361,000	848,000
1年内返済予定の長期借入金	366,664	366,664
未払法人税等	433,645	189,677
賞与引当金	281,151	364,084
役員賞与引当金	—	22,900
その他	4,075,366	4,495,636
流動負債合計	7,155,133	8,166,295
固定負債		
社債	2,200,000	2,200,000
長期借入金	958,338	683,340
役員退職慰労引当金	120,226	134,815
退職給付に係る負債	208,698	232,711
その他	323,009	353,056
固定負債合計	3,810,272	3,603,922
負債合計	10,965,406	11,770,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	4,506,159	4,506,159
利益剰余金	7,261,876	7,450,471
自己株式	△1,268,187	△1,630,236
株主資本合計	21,017,009	20,843,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,855	67,182
繰延ヘッジ損益	△30,307	△18,789
為替換算調整勘定	△13,638	△130,421
退職給付に係る調整累計額	△20,308	△18,126
その他の包括利益累計額合計	△7,400	△100,154
新株予約権	278,663	278,494
非支配株主持分	627,191	660,104
純資産合計	21,915,463	21,681,999
負債純資産合計	32,880,869	33,452,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	22,358,431	21,848,336
売上原価	15,129,950	14,981,671
売上総利益	7,228,481	6,866,664
販売費及び一般管理費	5,667,358	5,794,085
営業利益	1,561,122	1,072,578
営業外収益		
不動産賃貸料	343,399	343,578
投資事業組合運用益	291,776	—
その他	90,703	81,891
営業外収益合計	725,878	425,469
営業外費用		
不動産賃貸費用	226,675	234,489
その他	73,114	56,381
営業外費用合計	299,790	290,871
経常利益	1,987,210	1,207,177
特別利益		
固定資産売却益	1,250	—
新株予約権戻入益	—	168
特別利益合計	1,250	168
税金等調整前四半期純利益	1,988,461	1,207,346
法人税等	550,293	392,182
四半期純利益	1,438,167	815,164
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,742	80,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,369,425	735,141

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
四半期純利益	1,438,167	815,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,349	10,326
繰延ヘッジ損益	△68,953	11,518
為替換算調整勘定	3,535	△118,259
退職給付に係る調整額	△5,916	2,182
その他の包括利益合計	△97,684	△94,231
四半期包括利益	1,340,483	720,932
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,272,331	642,387
非支配株主に係る四半期包括利益	68,151	78,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年11月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を349,100株取得しております。また、当社役員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を11,600株処分しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が362,049千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,630,236千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、非連結子会社であった三栄高科設計（成都）有限公司及び SANEI HYTECHS VIETNAM co., ltd. は、重要性が増したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。また、連結子会社であった INNO MICRO (SHANGHAI) LTD. は清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,356,401	9,002,029	22,358,431	—	22,358,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,980	13,833	41,814	△41,814	—
計	13,384,382	9,015,863	22,400,245	△41,814	22,358,431
セグメント利益	991,341	1,016,983	2,008,324	△447,202	1,561,122

(注) 1. セグメント利益の調整額△447,202千円には、セグメント間取引消去279千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△449,188千円及び棚卸資産の調整額1,705千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,187,882	6,660,453	21,848,336	—	21,848,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,299	16,533	31,832	△31,832	—
計	15,203,182	6,676,986	21,880,169	△31,832	21,848,336
セグメント利益	1,147,275	275,423	1,422,699	△350,120	1,072,578

(注) 1. セグメント利益の調整額△350,120千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△350,064千円及び棚卸資産の調整額△55千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。